

ネットラジオのススメ

tawakiのネットラジオのススメ

みなさんは普段どのように音楽を摂取していますか？CDの購入、レンタル、クラブイベント、友人間の貸し借りetc…

このように摂取の仕方は様々ですが、なかでもオススメなのがネットラジオ。僕がハマったのは4年ほど前。大学院入試を控えて時間も金も無く、ひたすら家にこもっていた時でした。今までのようにレコードやCDを買うことが出来ない環境のなか、唯一ネットラジオが僕の「窮乏状態」を救ってくれたのです。

当時、僕は60～70年代の音楽を中心に聴いていて、最新の音楽事情にかなり疎くなっていました。次々に発売される新譜を追いかけるようにチェックするMUSIC LIFEには金銭的にも精神的にも限界にきていました。

そんな時に出会ったのがネットラジオでした。その中のいくつかは確かな審美眼に基づいてセレクトされた新曲をミックスして紹介するというものでした。これらのプログラムとの出会いから、僕は再び新しい音楽との距離を縮めることができたのです。

12inchのレコードをママに買わない人。クラブに行くのが物理的に困難な人、曲と曲とがミックスされた状態で音楽を楽しみたい人にはネットラジオはもってこい。金銭的なリスクがないため新しいジャンルを開拓するという面白みもあります。読者の中には音楽が好きでも音楽をとりまく消費文化に懐疑的な人も多いのではないかと思います。そんな人こそネットラジオを聴いてほしいと願っています。ネットラジオはフリーで素晴らしい音楽を公開するという極めて公共性の高いメディアです。コレクティブでもウェブ上にどんどんDJミックスを公開していく予定です。このペーパーの読者が作ったミックスを僕たちのウェブ上に公開するというのも面白い手かもしれませんね。音楽をより広く深く知る手段として、更にはコミュニケーションの手段としてネットラジオがみなさんに有効利用されればと願っています。何だかNTTのCMみたいな締めになりましたが、今回はそんなところですが、それではみなさん素晴らしいMUSIC LIFEを。Peace.

オススメのネットラジオを以下にピックアップしましたので是非チェックしてみてください。

1. <http://www.btsradio.net/>
ヒップホップ中心のネットラジオ。デザインも秀逸。
2. <http://www.bbc.co.uk/radio1/gillespeteron/>
いわずと知れたGILES PETERSONがホストを務めるプログラム
3. <http://www.brokenbeatradio.com/>
いわゆるクロスオーバー系のサイト。トラックリストもあり良心的。
4. <http://www.globalhouseconnection.com/>
ハウスの新譜を中心にかけるプログラム。From Germany
5. <http://www.pulsation.com/>
Detroit House/Detroit Technoを堪能するならこのプログラム。
6. <http://www.deephousepage.com/>
野田努著『ブラックマシンミュージック』の副教材的内容！キラー！！

introduction

今回からレギュラーメンバーに加わったyuにも自己紹介文をお願いします！どうぞよろしく。

yu

1981年生まれ。
中学三年生時、軽い気持ちで見たNHKのドキュメンタリー番組「ソリンスペシャル」(多分)で野外レイヴRAINBOW2000の光景を目の当たりにし、衝撃を受ける。

relax誌の「DJになってやる！」という特集を読み、まんまと影響された私は金をため高校二年の頃にターンテーブルなどを買って揃えレコード屋に行くようになる。

人前で音楽をかけるようになったのは大学に入ってから。本当に人との素晴らしいめぐりあわせでここまでやってこられました。これからは皆様に感謝感謝。

音楽はもちろん一番好きなのですが、プロ野球もかなり好きです。どの球団にも好きな選手がいますが、チーム単位で応援するのはマリーンズです。気の合う方、是非！

こんな私ですが、よろしくお願いします。

next collectitve

次回collectiveは
2006年夏を予定しています。
次回は2周年記念です！

http://www.geocities.jp/collective_web/

collective全体について、またこのpress collectiveについてのご意見・ご感想が僕達の最大の活力源です！皆でもっと楽しいパーティーを作りませんか？ぜひ上記WEBサイトから皆さんの声を聞かせてください！

press collective

pick up of the issue

新木リリオ インタビュー

新木リリオ インタビュー

2006年1回目のcollectiveは、ゲストライブに新木リリオさんをお迎えします。そこで新木さんのインタビューを執行してきました。天満のカレー屋で食べ放題のカレーやナンを食べながら色々とお話してきました。その一部をどうぞ！

collective(以下:c) : 音楽をやりはじめたのはいつごろからなんですか？

新木リリオ(以下:新) : 高一からギターを始めたんです。普通にバンドやりました。

c : へえ、どんなバンドなんですか？

新 : そのころはロックが好きでしたね。で、大学生のときに竹村延和さんの「こどもと魔法」を聴いて、打ち込みをやってみたくて思いました。もともとフレーズの組み合わせとか好きだったんですけど、そういうロックではないものを聴くとそっち方面へ傾いていって、一人で色々こなしていく楽しさとかにも目覚めたんです。それで大学3年くらいから、打ち込みと楽器でやるバンドを始めました。思いっきりテクノみたいなのはあんまり好きじゃなくて、それよりは少し生っぽい音で表現したかったんです。サンプリングが好きなんです。サンプリングの生々しさが好き。モノを叩いた音とかサンプリングするじゃないですか。そういう感じの生々しさ。

c : あーなるほどなるほど。広島で大学在学中にやっていたという「生活レコード」っていうのはどんなものなんですか？

新 : レーベルっていうか、、仲間、ですね。まあcollectiveとかみたいな。「生活レコードナイト」っていうイベントをやってたんです。

c : 何人くらいでやってたんですか？メンバーは。

新 : 最大で5人ですね。バンドが3人で、あとDJとか、対バンだったりとかで。オールナイトでやりました。

c : オールナイトでバンドってなかなか大変そうですね。

新 : うーん大変でしたね。もうしんどくてできません。形態は、機材で作ったトラックだけって時もあったし、バンドのときもあったって感じで。

c : トラックだけっていても結構長時間だし大変ですよー。どれくらい続いてたんですか？生活レコードナイトは。

新 : 3年くらいですね。大学卒業してからも続いてたんですけどね。僕が京都に引っ越ししたり、メンバーだった高西君(※1)が大阪に引っ越ししたりで、やらなくなりましたね。

c : そうなんですか。ところで新木さんの好きな音楽ってどんなのなんですか？

新 : うーん、幼い頃、日本のポップスやアニメの主題歌とかから最初入ってるので、その日本人っぽさからは逃れたいですね。あとは大して何にも聴いてないです。好きな要素で言うと、リズムと裏メロがすごい好きなんですよねー。

c : 裏メロってなんなんですか？

新 : 裏メロって、AメロとBメロの間のチャララーみたいな。主旋律とか歌とかよりも、そういう伴奏が好きで。楽器でもバイオリンとか主役っぽいよりも、チェロとかホルンとかが好きなんです。あの後ろで刻むやつ。

c : ああーなるほど、裏メロってなんかわかります。あの全然話変わるんですけど、新木リリオって本名なんですか？

新 : そう本名です。

c : どんな漢字書くんですか？

新 : 理利生です。

c : おー珍しいですよー。

新 : 父親が安利で、母親が真理子っていう名前で、そこからとったそう。

c : いい話じゃないっすか。

新 : うちの親族には「生」って書いて「お」って読む人が多いんですよ、なぜか。あんまないですよー。

c : カタカナ表記にしてるのは読みやすいように？

新 : そうそう。名前だれにも読んでもらえないんですよー(笑)。

c : ははは。今回はライブで参加していただくんですけど、ライブ自体は久しぶりですか？

新 : 生楽器入りのバンドでやるのは数年ぶりですね。去年の6月に高西君のcurrentからのレコ発イベントでは一人のライブで出演させてもらったんですけど、そのときにcollectiveの松井さんがDJで参加してて、それがとてもいい感じで。で、帰り道に偶然会って、話してみたのが松井さんと知り合ったきっかけ。うちの奥さんに「話しかけなよー」とか言われて(笑)。

c : そうそうそうでしたねー。そのときこんなパーティやってるんですけどcollectiveの話とかして。ライブでやる曲はどんな感じの曲ですか？

新 : 曲調は、んー、BPM120くらいのが中心ですが、色々です。練習中です。主にWEBにのせてる感じのを生でやるって感じです。ライブではギターをのせたりしてやるのであんまテクノっぽくはないかな。

c : 曲作るときってどんなこと考えます？

新 : んー、図形っぽく考えたりすることが多いですねー。こう、音符がタン、タン、タンって順番に上がっていったら、そのあとには逆にタン、タン、タンって順に下がるとか。

c : あーなるほど。なんか誰かの曲を聴いてマネしてみたりとかは？

新 : 主になるメロディーとかはマネしたりはしないけど、曲やフレーズの構造とかが好きなので、そういうので「新しい」と思ったやつは、そのしくみをマネしてみたりします。そういえば僕、トウヤマタケオさん(※2)が好きで。初めてライブを見たときに「曲作りの考え方が一緒っばい！」って、偉そうですが思って。で、なんだかんだでトウヤマさんにピアノ習ってます。

c : へー。レッスンはどんな感じですか？

新 : それがほとんどピアノは教えてもらってないんですよ(笑)。雑談とかしてますねー。曲の構造のこととか、考え方とか、そういう話をいろいろ話してます。レッスンの最後にほんの少しピアノを弾いたりもします(笑)。あ、誤解のないように、ちゃんと教えてと言ったときは教えてもらってますので。

c : 最近の活動はどうですか？

新 : 僕はすぐにやる気なくなっちゃうんですよ(笑)。

c : だからWEBの日記とかでもよく「がんばる」って書いてるんですか？(笑)

新 : そうそう。バンドだと練習があつたりするからやらざるをえなくなるんだけど、一人でやると何にもしなかつたりするから。。。なかなか一人で奮い立たせるのって大変ですね。だから刺激を与えてくれる友達とかがたくさんいるといいですね。欲しいですね。メンバー募集中です。

※1 : Flower Triangle a.k.a. Tomoyasu Takanishi, 半野喜弘のcurrentレーベルなどからアルバムをリリースするミュージシャン。新木さんとは大学時代に同じバンドに所属。

※2 : トウヤマタケオ。同じくcurrentや、ドイツのkaraoke kalkなどからリリースするミュージシャン。